

このむらは みんな元気

地図にない村「菅福元気邑」。自分たちの手で地域の自立をめざし、様々な活動に取り組んでいます。広報12月号（上巻）では、農産物加工品づくり（菅福食文化伝承館）、都市との交流（里山ものづくり大学）、炭づくり（里山ものづくり塾）を紹介しました。今月（下巻）は、引き続き菅福元気邑を特集し、地域の伝統文化の伝承、紅葉温泉を紹介します。

地図にない村
菅福元気邑
すげふくげんきむら

地域の文化を 残していききたい

鈴の音が響きわたる傘踊り、「厄よけ伝統行事「ホトホト」など菅福地区には古くから伝わる伝統文化があります。地域の伝統文化の火を消すことなく、次代に伝えていこうと、まちの催しに積極的に参加する「傘踊り」。一昨年、25年ぶりに復活した「ホトホト」。地域づくりに一役かっている伝統文化を紹介します。

歯切れの良い鈴の音
古くから伝わる傘踊り

シャン、シャン、シャン。
歯切れの良い鈴の音が響きわたる菅福傘踊り。

傘踊りは、菅福地区に古くから伝わる伝統的な踊りで、今でも地域の伝統文化として受け継がれています。

傘踊りのメンバーは、現在10人程度。稲田喜代子さん（上菅）は「以前は、みんなが集まって練習し、とてもにぎやかでした」と話します。

昔は多くのメンバーが体育館に集まり、夜遅くまで和気あいあいと練習に励んでいましたが、今ではさびしくなりました。しかし、子どもたちがこの伝統文化を受け継ぐことががんばっています。



伝統文化を受け継ぐ黒坂小の児童たち

子どもたちが伝承
受け継ぐことの大切さ

菅福小学校では、15年以上前から地域の伝統文化を受け継いでいこうと、傘踊りと銭太鼓を全校児童で取り組んでいました。

菅福小学校は、平成13年度に黒坂小学校との統合で廃校